

様式 2

平成 3 1 年度 墨田区立第二寺島小学校 経営計画書

校長名 江口 千穂

|         |   |
|---------|---|
| 学 校 目 標 | 豊かに関わり合い、確かな学力と豊かな人間性を育む学校  |
| 目指す学校像  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供の学びを大切にする学校</li> <li>・ 保護者・地域との連携を大切にする学校</li> </ul>                                   |
| 目指す子供像  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ よく考えて工夫する子</li> <li>・ 思いやりがあり助け合う子</li> <li>・ 体力のある元気な子</li> <li>・ ねばり強くやりぬく子</li> </ul> |
| 目指す教師像  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供一人一人のよさや可能性を引き出す教師</li> <li>・ 多様な教育課題に対して組織的に協働しプラス思考で発信できる教師</li> </ul>               |

| 項目     | 取組の視点                      | 取組指標  | 成果指標   |
|--------|----------------------------|---|--|
| 各教科指導等 | 確かな学力を育てるための、分かりやすい授業の実施等  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○算数・理科に特化し、基礎基本の定着を図る。</li> <li>○家庭学習の習慣化に向け保護者への働きかけを強化する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふりかえり月間の年 3 回実施等を通して、C 層の割合を 5 % 以上減少させる。</li> <li>・ 年 3 回家庭学習週間を設定し、成果課題を検証する。</li> </ul>  |
|        | 特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援教育についての教職員の共通理解を深める。</li> <li>○校内組織、学校サポートチームを活用し適切に対応し、障害者差別解消法に基づき合理的配慮に努める。</li> <li>○くすのき学級・つばさ学級の児童のニーズに合った支援を行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内委員会を年 12 回実施し、情報共有を密にする。</li> <li>・ 毎週の生活指導朝会、年 2 回の生活指導全体会、年 4 回の特別支援教育委員会を実施し、情報共有及び支援の手だてを検討する。</li> <li>・ 学校生活支援シート・個別の指導計画をもとに年 2 回の個人面談等において家庭との連携を図る。</li> </ul>                   |
|        | 社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○外部人材を活用し、社会で役立つ意識を醸成する。</li> <li>○オリンピック・パラリンピック教育、情報モラル教育を推進し、地域・保護者参加型の活動を充実する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学年年 3 回以上、外部人材を活用した体験型の学習を実施し、特色ある教育活動を充実する。</li> <li>・ 講師を年 2 回以上招聘し、夢や希望をもった児童を 70%、情報モラルについて SNS ノート等にルールを明確に示す児童を 100%にする。</li> </ul>  |
|        | 教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組等  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○校内 O J T 研修を充実し、初任者、産育代教員、養成塾生、教育実習生等の若手教員の育成を組織的に行う。</li> <li>○校内研究の日常化を図り、幼保小中連携事業・公開授業等において学習指導案を作成し指導力の向上を図る。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年 10 回以上、各主任等による O J T 研修、若手研修等を実施し、組織的な人材育成を推進する。また、若手教員、養成塾生等の授業観察時、観察シートを活用し、課題と改善策を明確にする。</li> <li>・ 全教員が研究に関わり、教育環境を整備するとともに、教員相互の授業観察を年 10 回以上実施する。また、児童の変容を数値化し、授業改善に生かす。</li> </ul> |
| 生活指導等  | 問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校いじめ防止対策基本方針・いじめ防止プログラムに基づき、相互の立場や痛みを理解し、協力し合える児童の育成を図る。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイチェック (年 2 回)、アンケート (年 3 回)、いじめ防止授業 (年 3 回)、いじめ対策委員会 (毎月) を実施し、いじめの未然防止早期発見早期解決を図る。</li> </ul>   |

様式 2

|         |                             |   |  |
|---------|-----------------------------|---|--|
|         |                             | ○登校しぶりや不登校傾向のある児童への組織的対応を充実する。  | ・2日以上欠席の児童への家庭訪問を徹底する。また、関係各所と連携し、情報共有、対応策を検討する。   |
|         | 基本的な生活・社会習慣、人間関係作りのための心の教育等 | ○自尊感情や自己肯定感を高めるための教育活動の充実を図る。   | ・年10回「フレンドリータイム」(縦割り班活動)を実施し、思いやりや責任等の社会性を育成する。  |
|         | 安全を確保するための取組等               | ○生命尊重、安全・健康について十分な配慮を行い、豊かな教育環境を創出する。<br>○地震等の災害、不審者等からの危機回避能力の育成、安全対策や点検を徹底する。             | ・薬物乱用防止教室、セーフティ教室、地域安全マップづくり、SNS 学校ルール特別授業等を実施する。<br>・安全教育プログラムに基づく校内研修及び JRC と連携した防災教育を実施し、教職員の危機意識を向上する。 |
| 学校の管理運営 | 経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等    | ○多様な教育課題に対して組織的に協働する。<br>○副担任制の実施、校務分掌の改善により、役割分担を明確にする。                                    | ・日々の授業観察、自己申告等により、組織的に課題解決ができてきているか確認する。<br>・各分掌や役割を明確化し、組織で協働して課題解決に当たる意識を高める。                            |
|         | 子供の実態に合わせた教育目標設定及び評価等       | ○各種調査の分析を行い、課題を把握し、目標設定及び評価を行う。   | ・体力調査で課題のある項目に特化し、各学年の実態に応じた手立てを工夫し課題解決を図る。<br>・児童の実態及びアンケート等をもとに、1月までに次年度の教育目標を検討する。                      |
|         | 教育環境・設備等の整備状況等              | ○落ち着いた学校生活を過ごすことができる教育環境を整備する。<br>○95周年の歴史と伝統を大切に、学校の特色を生かした校内環境の整備に努める                     | ・月1回、全職員による環境整備及び安全点検を徹底する。<br>・学年の特色を生かし校内掲示を組織的に計画的に整備する。  |
| 家庭・地域連携 | 教育方針や日常の教育活動の様子などを伝える取組等    | ○学校公開、各種たより、掲示板、ホームページの充実を図り、情報を積極的に発信する。   | ・年3回の学校公開、月2回以上のホームページ更新を通し、教育活動を地域保護者に積極的に発信する。   |
|         | 保護者や地域の理解や協力を得た教育活動の推進等     | ○学校を取り巻く環境や人材を活用し、学びの場や機会を拡大し、ゲストティーチャー、出前授業等で外部の教育力を活用し、授業の充実を図るとともに、多様な学習活動や地域人材との交流を深める。 | ・向島百花園や東武博物館等の施設活用、寺島なす栽培、保護者ボランティアによる図書読み聞かせ、桜堤中・墨田川高校・保育園・幼稚園との交流学习、コーディネーショントレーニング公開研修を実施する。            |